

クマガワイノモトソウの分布について

著者	乙益 正隆
著者別表示	Otomasu Masataka
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	35
号	2
ページ	68
発行年	1987-12-25
URL	http://doi.org/10.24517/00056083



本種が日本に産することは記録されていないが、Ding HOU 氏は小笠原に産することを報告している (Fl. Malesiana 6-2)。鹿大には山本篤氏が母島のゴムノキ山で採集した3枚の標本があるので報告しておく、野生品か帰化品かはつきりしない。

17. キレンゲショウマ 筆者が1978年に新種として発表したコダチキレンゲショウマはその後第二の標本が祖母山で発見されたがいずれもキレン

ゲショウマの奇形と考えられるので異名とする。

18. アオミヤママンネングサ 本品種は母種に比べ全株緑色である。大場秀章氏の私信によれば南谷忠志氏が宮崎県でも発見している由である。本品種の大隅における産地は海岸近くの岩場でミヤママンネングサとしては異常の低地産で分布の南限をなしている。 (Received April 20, 1987)

○ クマガワイノモトソウの分布について (乙益正隆*) Masataka OTOMASU*: On Distribution of *Pteris deltodon* BAKER.

1961年、京都大学の田川基二は前原勘次郎の球磨村採集標本を調べた結果、本種が日本初記録であることがわかり、報告した(田川, 1961)。その際、球磨川付近に多いことから、前原勘次郎によって命名されたクマガワイノモトソウを和名として発表した。しかしながら、クマガワイノモトソウ *Pteris deltodon* BAKER (図1参照)が、日本で採取された最も古い記録は、緒方正資の採集によるもので、1932年の肥後、球磨郡、球磨村産の標本が、京都大学 (KYO) に所蔵されている(杉本, 1966)。その後、いくつかの新産地を加えることができたが(図2), 現在までに本種の日本での分布は九州の熊本県と宮崎県だけに限られている。

石灰岩地性の植物として知られ、中国、台湾においても同様の傾向を示す(田川, 1950, 1961; 中国科学院, 1972)。生育地は、石灰岩壁の割れ目や、風化して、堆積した土の上で、直接霜の害を受けないような岩の下や、鐘乳洞の入口などに多い。分布は主に大坂間構造線に沿った石灰岩地に分布する。球磨村、山江村の生育地では、土壤のpHは7.3-8.4の間で平均7.3くらいである。標高は、80-450mくらいの間で、山の南面の日陰に多い。一般に分布の南部に生育する個体は大きく、北部になると小さくなる傾向があるので、暖地を好む性質が伺える。北上するにつれて少くなり、ついには無くなってしまうのは温度によって限定されているからかも知れない。これら生育地の年平均気温は14-15°Cくらいで、年降水量は2000mm以上である(九州大学理学部, 1958)。暖かさの指数(warm index)は50m alt.-130, 500m alt.-100くらいになる

から、分布域は暖地に属すると言える。東京大学農学部森林植物学教室 (TOFO)、京都大学理学部植物学教室 (KYO) 所蔵の標本と私の手元の標本から分布図をつくると図2のようになる。

日本での分布の北限は日向、児湯郡戸川岳で、南限は肥後、球磨郡、球磨村告口である。雨量の多い暖地の鐘乳洞の入口や石灰岩壁の南面に多いところから、今後これらの条件を備えた場所に出現する可能性がある。

Summary

1. *Pteris deltodon* BAKER is distributed exclusively on the limestone areas along the Osakama Layers in Kyushu.
2. This species grows on the limestone crevices or cliffs in the shady places of which environmental conditions are as follows: soil, pH 7.3-8.4; annual precipitation, more than 2000mm; annual average temperature, 14-15°C.

引用文献

- 九州大学理学部. 1958. 球磨村の植物、球磨村森林博物館; 杉本順一. 1966. 日本草本総検索誌、シダ篇、六月社; 田川基二. 1950. アジアの羊歯植物をりにふれて I, 植物分類地理 14: 44-48; 田川基二. 1961. 羊歯類雑説 (11), 植物研究雑誌 36: 205-211; 中国科学院植物研究会主編. 1972. 中国高等植物図鑑, 第一冊, 科学出版社

(Received Jun. 30, 1987)

(*〒868-01 熊本県球磨郡相良村大字四浦東3212 相良村立相良北小学校;
Sagarakita Municipal Primary School of Sagara, Kuma-gun, Kumamoto
868-01)



Fig. 1 クマガワイノモトソウ

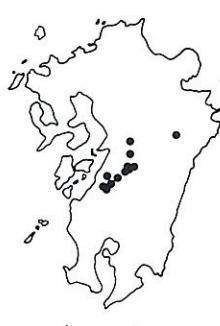


Fig. 2 クマガワイノモトソウ
の分布図